

ビーダナシ(芙蓉布)の復元

化学部

■依頼内容

依頼者は甑島で昔から織られていたビーダナシの復元に1人で取り組んでおり、繊維を採る技術については確立しています。しかし、繊維が切れやすく紡ぐのに手間がかかります。そこで、製織と染色の技術について指導して欲しいとの相談を受けました。

■指導内容

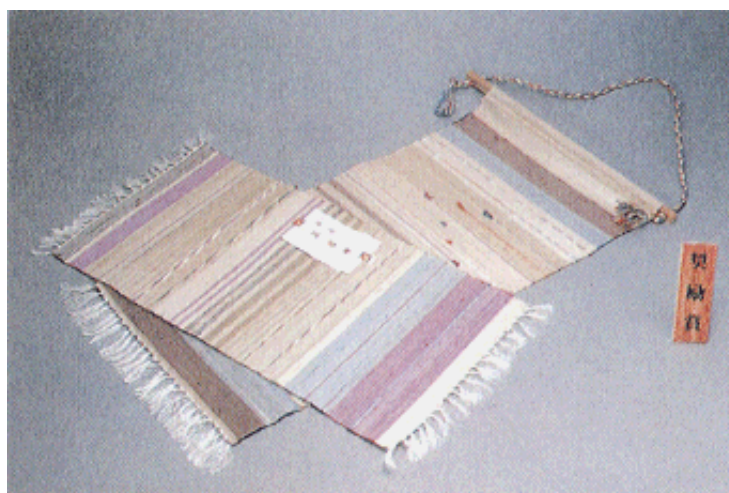
ビーダナシは甑島の伝統織物で芙蓉織物としては世界に一つしかなく、村の歴史民族資料館に展示保存されている貴重な文化財ですが、後継者もなくその技術は途絶えようとしています。文化継承のためにアドバイザーとともに製織、染色に関する次のことについて指導しました。

- ①配色を考慮しながら図案化し、寸法を割り出してみることを勧めました。
- ②製織に用いる部品・付属品等を検討し、改善しました。
- ③実地指導しながら製織時のクセを直し、織り方の技法など指導しました。
- ④経糸、緯糸が切れる原因と糸つなぎの処理法について説明しました。
- ⑤地元の草木を用いて染色を実習し、堅ろう度向上についての染色法も指導しました。
- ⑥ビー(芙蓉)を活かした商品作りについて意見交換しました。

■成果

能率良く織れるようになり、さらに織組織にも変化をもたすことができ、製品の多様化が図られました。今後染色した糸を使い、色彩豊かな商品作りに取り組んでいきたいとのことでした。また、この事がニュースソースとなり、村おこし事業の一助を担っています。

なお、平成4年度には鹿児島県の伝統的工芸品に指定されると共に、平成6年度鹿児島県新ふるさと特産品コンクールでも奨励賞を受賞し、その他いろいろな展示会等でも賞を得ています。



ビー(芙蓉)を染織したタペストリーとテーブルセンター